

令和5年度

関係人口創出・拡大のための対流促進事業  
(中間支援組織の提案型モデル事業)

事業の実施結果  
(概要)

団体名	株式会社LIFE BASE
事業名	地域スポーツイベント（ロゲイニング）を活用した関係人口構築プロジェクト

- ・ 非観光地におけるエリア来訪者と地域事業者の結びつきを円滑に遂行する為に、地域向け事前事後WS&講演計4回を実施した後、地域アクティビティイベント（ロゲイニング）計3回の開催し、地域の受入意識の醸成と関係人口創出を企図。
- ・ 50名の地域事業者と80名のロゲイニング参加者を生み、参加満足度4.73点（5点満点）及び再来意向度4.70点（5点満点）を獲得した。

## 主な活動内容

### 1. 地域事業者向けワークショップ&講演の実施

- ・ 10月29日、12月2日、1月14日、2月25日の計4回、地域事業者向けのワークショップ&講演を実施。
- ・ 先行ロゲイニング開催エリアの主催者（熱海市網代）や熱海市における関係人口創出の第一人者である株式会社 machimori代表市来広一郎氏が登壇。
- ・ 4日間合計で延べ40名が参加し、関係人口を取り入れる意義や手法としてのロゲイニングの理解、そして地域事業者間の交流を行った。

### 2. ロゲイニングの実施

- ・ 1月20日、1月28日、2月3日の計3回、ロゲイニングを実施し、合計80名が参加した。
- ・ 事前準備として、拠点となる事業者（計48箇所）との複数回に渡る調整を実施した。
- ・ 参加者と地域事業者が繋がる為のコミュニティを作成。



地域向け講演（市来氏）



ボーナスポイントを獲得する参加者

## 主な成果

### 1. 参加者や地域の声

- ・ 参加者からは、「子供と参加したロゲは初めてで、家族参加できるやさしいロゲだった。行けなかったポイントを改めて周りたい。」（熱海市・40代）や「とても良かった、イベントを通して地域を発信する新たなツールだと思った」（藤枝市・20代）等、ロゲイニング自体の面白さと工夫した企画が地域イベントに適していたことが確認できた。

### 2. 地域への影響や関係人口側の姿容・文化的充足感

- ・ 参加者全体から高い満足度（4.73/5.00）と再来意向度（4.70/5.00）を獲得した。
- ・ 参加者の約70%が開催エリア外からの来訪であり、関係人口創出に向けたターゲティングができた。
- ・ 地域事業者からも次回以降の積極的なロゲイニングへの協力意向表明が多数あり、次回以降の開催の期待感が高まっている。
- ・ 参加者がコミュニティ内で発信をする等、想定通りの動きが図られている。

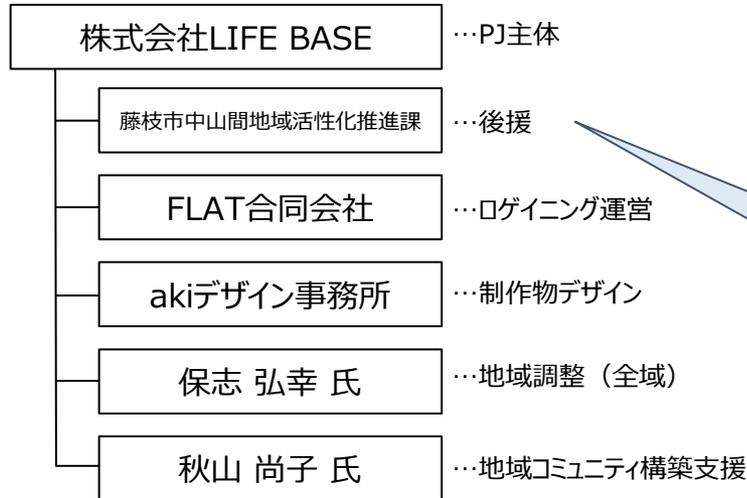
### 3. 事業を通じて得られた気づきや知見

- ・ 事前の地域事業者及び行政との関係構築が何よりも肝であり、一度実施が成功すると、再度開催しやすい取り組みであることがわかった。
- ・ 参加者が新たな参加者を紹介する流れがあり、複数回実施の有効性が確認できた。

## 事業実施体制・関係機関

## 事業推進体制

## ワークショップ&amp;講演協力者



株式会社machimori 代表取締役 市来広一郎氏

一般社団法人 あじろ家守舎 代表理事 山崎 明洋氏

本イベント実施決定後、藤枝市中山間地域活性化推進課からの後援及びスポーツ振興課からの各種スポーツイベントでの告知協力など様々な行政連携を図ることができた。

## 地域受入協力先

市之瀬交流ヴィレッジ おかえり
ティーテラス市之瀬 (市之瀬茶農協)
石窯パン工房 すまいる
ゆるびく村
月とマーニ
ベトナムハンモック雑貨カフェホアスウア
びく石 りんご・ブルーベリー 狩り園

中里の庄・和
藤枝市陶芸センター
ジャパンベリー農園
ちよっくら 農産物直売所
瀬戸谷温泉ゆらく
瀬戸谷のめぐみ茶園
NaturaliTea 椿邸
卯ノ木

むかし田舎体験 水車むら
柿の木坂の家
森下製菓店
杉山畳店
めぐり庵
株式会社志太泉酒造
ベーカリーカフェ 風
つむぎ宿 藤

ともちゃん家
古民家 ひだまり
森のなかま 藤枝
イシモク(株)石川木材
寿蘭
入口屋
藤枝総合運動公園
テンテンカシテン

## 次年度以降の事業展開

- 今年度の取り組みを踏まえ、地元関係構築に関する関係者の実施負担の軽減を中心に事業収支の健全化をはかる。
- 開催すればする程、事前準備にかかる工数が減るモデルのため、複数回開催を前提として事業展開していく。
- 本取り組みの成果を持って、地域企業からの協賛金等を募り継続的な運営体制を構築。
- またロゲイニング参加者の増加の為に、今回参加者への継続的なアプローチと地域事業者の取り組みをコミュニティ内で発信予定。
- 上記取り組みを踏まえ、2024年5月に同エリアにて第2回目のロゲイニングを開催予定。
- 新規エリアでの展開についても複数回実施可能地域が見つかり次第、実行を検討。

	費目	既実施エリア	新規実施エリア	備考
支出	人件費	300	600	業務委託費用
	雑費他	800	900	システム利用費、デザイン費他
収入	チケット代	800	800	参加者200名（単価4千円）
	協賛金等	500	500	地元企業及び商工会等
差額		+ 200	▲ 200	

単位：千円

## 自立・自走化にあたっての課題

- 既実施エリアにおけるロゲイニング開催については地元関係構築にかかる工数の削減が計れる為、再実施は可能。
- 一方で別エリアにおける横展開については、行政とのコネクション、地元キーマンとの早期の関係構築の可否がロゲイニング開催の肝となる。
- 集客にも課題があり、外部ロゲイニングコミュニティや類似団体との早期接触及び早期告知を徹底する事で参加者増加を図る必要がある。